

平成 22 年度当初予算 施策別概要

4 2 1 自然環境の保全・再生と活用

(主担当部：環境森林部)

42101	野生動植物保全活動の推進	(環境森林部)
42102	自然とのふれあいの確保	(環境森林部)
42103	河川、海岸の保全・再生	(県土整備部)
42104	自然環境保全の研究の推進	(環境森林部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 自然環境を地域の自然的社会的条件に応じて保全・再生・活用している (地域の自然的社会的条件に応じて保全・再生・活用された自然環境に囲まれ、生活を営んでいる)

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
多様な自然環境の保全面積	目標値	-	53,500ha	53,517ha	53,550ha	53,559ha
	実績値	53,485ha	53,492ha	53,542ha		

「自然公園特別地域面積」、「自然環境保全地域特別地区面積」、「里地里山保全活動計画認定面積」の合計面積 (環境森林部自然環境室調べ)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
里地里山保全活動計画認定団体 およびみんなで自然を守る認証 団体累計数	目標値	-	29 団体	35 団体	41 団体	47 団体
	実績値	21 団体	25 団体	32 団体		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- 自然環境に対する認識や生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) の開催を契機とした生物多様性への関心の高まりにより、希少な野生動植物の保全や身近な自然の大切さなどが改めて認識され、多様な主体による保全活動が、より一層重要になっています。
- 生物多様性の保全活動を拡大していくためには、その普及啓発や情報発信を活発化するとともに、市町や地域住民が行う自然環境の保全活動に支援する必要があります。
- 開発などに伴う環境への負荷の増加による生息環境の悪化など、野生動植物の保護が課題となっていることから、自然環境保全のための調査や情報の整理、さらには開発などを行う際には自然環境への影響の低減をはかる必要がある一方、中山間地域等においては、シカなどによる農林水産物の被害が拡大しており、適正な管理を進める必要があります。
- 集中豪雨等により東海自然歩道や大杉谷登山歩道が被災し、利用できない状態にあるため、早急に復旧する必要があります。
- 豊かな自然環境への回復に効果的な間伐技術の開発や野生動物と共生し、森林被害を軽減できる技術を開発する必要があります。

< 平成 22 年度の取組方向 >

生物多様性基本法に基づく生物多様性地域戦略を策定するとともに、COP10 の開催を契機に、生物多様性の理解と関心を高めるため、多様な生態系を維持している「三重県民の森」等の整備を

進め、普及啓発の拠点として活用するほか、COP10の展示会へ出展していきます。

希少野生動植物を保全するため、「三重県レッドデータブック 2005」の見直しを行い、その普及啓発を行うとともに、特に保護が必要として県が指定した希少野生動植物の保全活動を県民と協働して行います。

多様な自然環境を保全するため、三重県自然環境保全地域などの管理や、里地里山などの身近な自然を保全する活動を支援します。

鳥獣害対策として、鳥獣の管理の適正化を進め、特に被害の大きいニホンジカについては、狩猟期間の延長による捕獲推進をはかるため、ニホンジカ特定鳥獣保護管理計画の見直しを行います。

県民と豊かな自然とのふれあいを促進するため、自然公園などの施設の整備や維持管理を行うとともに、集中豪雨等で被災した東海自然歩道や大杉谷登山道の復旧を進めます。

管理不足の人工林での間伐が、樹木や土砂流出防止等に及ぼす影響を調査し、豊かな自然環境への回復に効果的な間伐技術や野生動物の被害軽減技術の開発に取り組みます。

河川が本来持っている豊かな自然環境を保全、整備することにより、生物の多様性や生育空間を確保するとともに、潤いのある水辺空間を創出します。

自然の消波機能と生態系が存在する場である海浜を保全、復元することにより、水と親しむことができる自然豊かな水辺空間を創出します。

<主な事業>

(新) 生物多様性保全推進総合対策事業【基本事業名：42101 野生動植物保全活動の推進】

予算額：(21) - 千円 (22) 77,275 千円

事業概要：生物多様性基本法の制定に伴い、三重県生物多様性地域戦略を策定するとともに、レッドデータブックの改訂やCOP10の関係に伴うエクスクージョンや展示会への参加を行うほか、三重県民の森を生物多様性の情報発信の場として整備します。

自然環境保全対策事業【基本事業名：42101 野生動植物保全活動の推進】

予算額：(21) 1,549 千円 (22) 1,577 千円

事業概要：優れた自然環境を有する自然環境保全地域の適正管理を進めるとともに、NPO等の里地里山保全活動計画に基づく活動を支援します。

生物多様性確保事業【基本事業名：42101 野生動植物保全活動の推進】

予算額：(21) 14,381 千円 (22) 14,330 千円

事業概要：多様な自然環境の保全や野生生物の保護について普及啓発をはかるとともに、鳥獣保護区等の指定など鳥獣保護事業計画に基づく事業を実施するほか、特定鳥獣保護管理計画の見直しにより、シカの適正な頭数管理を進めます。

大杉谷登山歩道災害復旧事業【基本事業名：42102 自然とのふれあいの確保】

予算額：(21) 43,234 千円 (22) 31,720 千円

事業概要：優れた自然の風景地である大杉谷について、平成16年に被災した登山歩道の復旧整備を行います。

(新) 県単自然公園等施設災害復旧事業【基本事業名：42102 自然とのふれあいの確保】

予算額：(21) - 千円 (22) 5,000 千円

事業概要：平成21年の台風18号で被災した長距離自然歩道や県有自然公園施設等について、歩道の修繕などの復旧整備を行います。